

## 計算書類に対する注記（法人全体用）

法人名：社会福祉法人 春和会

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産（リース資産を除く）

- ・建物、構築物：定額法
- ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法

##### ② 無形固定資産（リース資産を除く）

- ・定額法

##### ③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

- ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

##### ④ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

- ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

#### (3) 引当金の計上基準

##### ① 退職給付引当金

- ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。

##### ② 賞与引当金

- ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している

### 3. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 4. 法人で採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

### 5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

#### (1) 法人全体の計算書類（会計基準省令第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式）

#### (2) 事業区分別内訳表（会計基準省令第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式）

当法人では、収益事業及び公益事業を実施していないため作成していない。

#### (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表（会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式）

#### (4) 公益事業における拠点区分別内訳表（会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式）

当法人では、公益事業を実施していないため作成していない。

#### (5) 収益事業における拠点区分別内訳表（会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式）

当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。

#### (6) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

- |              |                |              |
|--------------|----------------|--------------|
| 1 本部拠点       | 9 わんぱく乳児院拠点    | 17 船橋さくらの杜拠点 |
| 「法人本部」       | 「乳児院」「子育て短期支援」 | 「特養」「短期入所」   |
| 2 江戸川さくらの杜拠点 | 10 小岩わんぱく保育園拠点 | 18 元麻布保育園拠点  |

「特養」「短期入所」	「保育所」	「保育所」
3 江戸川軽費老人ホーム拠点	11 練馬さくらの杜アネックス拠点	19 南葛西さくら拠点
「介護老人保健施設」	「特養」「短期入所」	「特養」「短期入所」
4 篠崎わんぱく保育園拠点	12 なごみの家小松川平井拠点	20 一之江さくら拠点
「保育所」	「地域支援施設」	「特養」「短期入所」
5 船堀わんぱく保育園拠点	13 墨田わんぱく第一第二保育園拠点	21 一之江わんぱく保育園
「保育所」	「保育所」	「保育所」
6 練馬さくらの杜拠点	14 墨田わんぱく保育園拠点	22 江東区特養（仮称）
「特養」「短期入所」	「保育園」「学童」「子育て広場」	「特養」「短期入所」
7 東日暮里わんぱく保育拠点	15 木場わんぱく保育園拠点	
「保育所」	「保育所」	23 小日向特養（仮）
8 春江さくらの杜拠点	16 荒川わんぱく保育園拠点	「特養」「短期入所」
「特養」「短期入所」	「保育所」	

#### 6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	10,827,953,109	2,474,247,007	535,233,303	12,766,966,813
合計	10,827,953,109	2,474,247,007	535,233,303	12,766,966,813

#### 7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

#### 8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物（基本財産）	12,766,966,813 円
計	12,766,966,813 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	4,995,644,000 円
計	4,995,644,000 円

#### 9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	15,740,052,489	2,973,085,676	12,766,966,813
建物	151,183,320	51,227,468	99,955,852
構築物	255,469,905	56,614,478	198,855,427
車両運搬具	79,633,854	57,516,134	22,117,720
器具及び備品	514,362,025	338,603,237	175,758,788
建設仮勘定	1,541,512,500	0	1,541,512,500
合計	18,282,214,093	3,477,046,993	14,805,167,100

#### 10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	915,448,189	0	915,448,189
未収金	48,700,304	0	48,700,304
未収補助金	1,034,019,787	0	1,034,019,787
合計	1,998,168,280	0	1,998,168,280

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。

(単位：円)

種類	法人等の 名称	住所	資産総額	事業の 内容 又は職業	議決権の 所有割合	関係内容		取引の 内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の 兼務等	事業上の 関係				
該当なし											

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け

該当なし

16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態

を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（法人本部用）

法人名：社会福祉法人 春和会

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

##### ①有形固定資産（リース資産を除く）

- ・建物、構築物：定額法
- ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法

##### ②無形固定資産（リース資産を除く）

- ・定額法

#### (2) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ・賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。

### 2. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

### 3. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

#### (1) 法人本部拠点区分計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

### 4. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
該当なし	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

### 5. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

### 6. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円

### 7. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具及び備品	848,480	239,223	609,257
合計	848,480	239,223	609,257

8. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位： 円)

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	661,315	0	661,315
合計	661,315	0	661,315

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位： 円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

10. 重要な後発事象

該当なし

11. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態

を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（特別養護老人ホーム タムスさくらの杜江戸川用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

## ①有形固定資産（リース資産を除く）

- ・建物、構築物：定額法
- ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法

## ②無形固定資産（リース資産を除く）

- ・定額法

## (2) 引当金の計上基準

・退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。

・賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

## (1) 特別養護老人ホームタムスさくらの杜江戸川拠点区分計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## (2) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（⑩））

- ・特別養護老人ホーム タムスさくらの杜 江戸川
- ・老人短期入所事業 タムスさくらの杜 江戸川

## (3) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（⑪））

- ・特別養護老人ホーム タムスさくらの杜 江戸川
- ・老人短期入所事業 タムスさくらの杜 江戸川

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	1,085,618,822	0	30,837,461	1,054,781,361
合計	1,085,618,822	0	30,837,461	1,054,781,361

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物（基本財産）	1,054,781,361 円
計	1,054,781,361 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（１年以内返済予定額を含む）	226,114,000 円
計	226,114,000 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	1,401,702,794	346,921,433	1,054,781,361
構築物	2,188,000	1,801,060	386,940
車両運搬具	5,591,222	5,591,221	1
器具及び備品	62,325,383	50,344,506	11,980,877
建設仮勘定	3,300,000	0	3,300,000
合計	1,475,107,399	404,658,220	1,070,449,179

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	131,922,799	0	131,922,799
未収金	10,120,494	0	10,120,494
未収補助金	8,656,000	0	8,656,000
合計	150,699,293	0	150,699,293

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

# 計算書類に対する注記（タムスわんぱく保育園篠崎用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

### (1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
  - ・建物、構築物：定額法
  - ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
  - ・定額法
- ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
- ④所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

### (2) 引当金の計上基準

- ①退職給付引当金
  - ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ②賞与引当金
  - ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

### (1) タムスわんぱく保育園篠崎拠点区分計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	222, 180, 399	0	11, 390, 291	210, 790, 108
合計	222, 180, 399	0	11, 390, 291	210, 790, 108

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

該当なし

計

0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

該当なし

計

0 円



8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	347,473,600	136,683,492	210,790,108
建物	1,363,320	1,037,783	325,537
器具及び備品	13,839,354	11,517,447	2,321,907
合計	362,676,274	149,238,722	213,437,552

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	9,180,320	0	9,180,320
未収金	0	0	0
未収補助金	1,965,450	0	1,965,450
合計	11,145,770	0	11,145,770

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

# 計算書類に対する注記（タムスわんぱく保育園船堀用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

### (1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
  - ・建物、構築物：定額法
  - ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
  - ・定額法
- ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
- ④所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

### (2) 引当金の計上基準

- ①退職給付引当金
  - ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ②賞与引当金
  - ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

### (1) タムスわんぱく保育園船堀拠点区分計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	329,469,511	0	15,352,407	314,117,104
合計	329,469,511	0	15,352,407	314,117,104

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物（基本財産）	314,117,104 円
計	314,117,104 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	57,121,000 円
計	57,121,000 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	448,450,664	134,333,560	314,117,104
構築物	540,000	268,335	271,665
車輛運搬具	135,300	47,558	87,742
器具及び備品	15,798,920	11,649,885	4,149,035
合計	464,924,884	146,299,338	318,625,546

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	8,313,220	0	8,313,220
未収金	0	0	0
未収補助金	2,435,100	0	2,435,100
合計	10,748,320	0	10,748,320

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

# 計算書類に対する注記（特別養護老人ホーム タムスさくらの杜練馬用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

### (1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
  - ・建物、構築物：定額法
  - ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
  - ・定額法
- ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
- ④所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

### (2) 引当金の計上基準

- ①退職給付引当金
  - ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ②賞与引当金
  - ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 特別養護老人ホームタムスタムスさくらの杜練馬拠点区分計算書類  
会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

(2) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（⑩））  
・特別養護老人ホーム タムスさくらの杜練馬  
・老人短期入所事業 タムスさくらの杜練馬

(3) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（⑪））  
・特別養護老人ホーム タムスさくらの杜練馬  
・老人短期入所事業 タムスさくらの杜練馬

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	1,139,377,129	0	64,543,350	1,074,833,779
合計	1,139,377,129	0	64,543,350	1,074,833,779

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物（基本財産）	1,074,833,779 円
計	1,074,833,779 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	398,285,000 円
計	398,285,000 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	1,569,666,128	494,832,349	1,074,833,779
構築物	1,476,600	1,118,537	358,063
車両運搬具	6,736,000	6,735,997	3
器具及び備品	55,769,776	54,808,069	961,707
合計	1,633,648,504	557,494,952	1,076,153,552

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	115,489,702	0	115,489,702
未収金	6,967,656	0	6,967,656
未収補助金	8,749,000	0	8,749,000
合計	131,206,358	0	131,206,358

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態

を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（タムスわんぱく保育園東日暮里用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
  - ・建物、構築物：定額法
  - ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
  - ・定額法
- ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
- ④所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

## (2) 引当金の計上基準

- ①退職給付引当金
  - ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ②賞与引当金
  - ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

該当な当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

## (1) タムスわんぱく保育園東日暮里拠点区分計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	299,118,305	0	14,586,705	284,531,600
合計	299,118,305	0	14,586,705	284,531,600

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物（基本財産）	284,531,600 円
計	284,531,600 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	62,120,000 円
計	62,120,000 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	401,225,240	116,693,640	284,531,600
器具及び備品	11,300,993	10,114,638	1,186,355
合計	412,526,233	126,808,278	285,717,955

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	0	0	0
未収金	0	0	0
未収補助金	750,250	0	750,250
合計	750,250	0	750,250

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし		0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（特別養護老人ホーム タムスさくらの杜春江用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
  - ・建物、構築物：定額法
  - ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
  - ・定額法
- ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
- ④所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

## (2) 引当金の計上基準

- ①退職給付引当金
  - ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ②賞与引当金
  - ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

## (1) 特別養護老人ホームタムスさくらの杜春江拠点区分計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## (2) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（⑩））

- ・特別養護老人ホーム タムスさくらの杜春江
- ・老人短期入所事業 タムスさくらの杜春江

## (3) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（⑪））

- ・特別養護老人ホーム タムスさくらの杜春江
- ・老人短期入所事業 タムスさくらの杜春江

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	1,656,455,798	0	79,858,367	1,576,597,431
合計	1,656,455,798	0	79,858,367	1,576,597,431

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産



担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物（基本財産）	1,576,597,431 円
計	1,576,597,431 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	569,836,000 円
計	569,836,000 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位： 円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	2,135,606,000	559,008,569	1,576,597,431
構築物	2,310,000	1,904,149	405,851
車両運搬具	12,140,994	12,063,402	77,592
器具及び備品	21,689,193	20,421,609	1,267,584
合計	2,171,746,187	593,397,729	1,578,348,458

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位： 円）

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	148,925,091	0	148,925,091
未収金	9,854,008	0	9,854,008
未収補助金	12,533,000		12,533,000
合計	171,312,099	0	171,312,099

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

（単位： 円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態

を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（わんぱく乳児院用）

法人名：社会福祉法人 春和会

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
  - ・建物、構築物：定額法
  - ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
  - ・定額法
- ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
- ④所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

#### (2) 引当金の計上基準

- ①退職給付引当金
  - ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ②賞与引当金
  - ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

#### (1) わんぱく乳児院拠点区分計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

#### (2) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（⑩））

- ・わんぱく乳児院
- ・子育て短期支援事業

#### (3) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（⑪））

- ・わんぱく乳児院
- ・子育て短期支援事業

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	541,103,755	0	26,072,477	515,031,278
合計	541,103,755	0	26,072,477	515,031,278

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

### 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

基本財産（建物）	515,031,278 円
計	515,031,278 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	205,306,000 円
計	205,306,000 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位： 円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	671,466,140	156,434,862	515,031,278
車両運搬具	1,032,346	914,875	117,471
器具及び備品	28,680,073	23,041,525	5,638,548
合計	701,178,559	180,391,262	520,787,297

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位： 円）

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	45,342,237	0	45,342,237
未収金	0	0	0
未収補助金	0	0	0
合計	45,342,237	0	45,342,237

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

（単位： 円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態

を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（タムスわんぱく保育園東小岩用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

## ①有形固定資産（リース資産を除く）

- ・建物、構築物：定額法
- ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法

## ②無形固定資産（リース資産を除く）

- ・定額法

## ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

- ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

## ④所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

- ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

## (2) 引当金の計上基準

## ①退職給付引当金

- ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。

## ②賞与引当金

- ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

## (1) タムスわんぱく保育園東小岩拠点区分計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	384,133,995	0	16,379,814	367,754,181
合計	384,133,995	0	16,379,814	367,754,181

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物（基本財産）	367,754,181 円
計	367,754,181 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	70,709,000 円
計	70,709,000 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	482,412,879	114,658,698	367,754,181
構築物	5,342,365	235,640	5,106,725
車輛運搬具	135,575	47,655	87,920
器具及び備品	9,904,700	7,436,127	2,468,573
合計	497,795,519	122,378,120	375,417,399

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	10,975,420	0	10,975,420
未収金	0	0	0
未収補助金	6,726,550	0	6,726,550
合計	17,701,970	0	17,701,970

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（特別養護老人ホームタムスさくらの杜練馬アネックス用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
  - ・建物、構築物：定額法
  - ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
  - ・定額法
- ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
- ④所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

## (2) 引当金の計上基準

- ①退職給付引当金
  - ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ②賞与引当金
  - ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

## (1) 特別養護老人ホームタムスさくらの杜練馬アネックス拠点区分計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## (2) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（⑩））

- ・特別養護老人ホーム タムスさくらの杜練馬アネックス
- ・老人短期入所事業 タムスさくらの杜練馬アネックス

## (3) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（⑪））

- ・特別養護老人ホーム タムスさくらの杜練馬アネックス
- ・老人短期入所事業 タムスさくらの杜練馬アネックス

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	1,152,731,317	0	55,566,552	1,097,164,765
合計	1,152,731,317	0	55,566,552	1,097,164,765

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物（基本財産）	1,097,164,765 円
計	1,097,164,765 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	363,982,000 円
計	363,982,000 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位： 円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	1,430,564,077	333,399,312	1,097,164,765
構築物	682,000	562,177	119,823
車輛運搬具	6,942,900	6,942,897	3
器具及び備品	26,721,660	23,593,450	3,128,210
合計	1,464,910,637	364,497,836	1,100,412,801

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位： 円）

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	86,389,809	0	86,389,809
未収金	6,773,636	0	6,773,636
未収補助金	8,666,000	0	8,666,000
合計	101,829,445	0	101,829,445

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

（単位： 円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態

を明らかにするために必要な事項

該当なし

# 計算書類に対する注記（なごみの家 小松川平井用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

### (1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
  - ・建物、構築物：定額法
  - ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
  - ・定額法
- ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
- ④所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

### (2) 引当金の計上基準

- ①退職給付引当金
  - ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ②賞与引当金
  - ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

### (1) なごみの家小松川平井拠点区分計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
該当なし	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円



8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	8,748,000	4,785,683	3,962,317
器具及び備品	1,147,392	1,147,389	3
合計	9,895,392	5,933,072	3,962,320

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態

を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（墨田わんぱく第一・第二保育園用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
  - ・建物、構築物：定額法
  - ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
  - ・定額法
- ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
- ④所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

## (2) 引当金の計上基準

- ①退職給付引当金
  - ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ②賞与引当金
  - ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

## (1) 墨田わんぱく第一・第二保育園拠点区分計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
該当なし	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。  
(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。  
(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
該当なし		0	0
合計	0	0	0

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。  
(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

# 計算書類に対する注記（タムスわんぱく保育園墨田用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

### (1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
  - ・建物、構築物：定額法
  - ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
  - ・定額法
- ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
- ④所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

### (2) 引当金の計上基準

- ①退職給付引当金
  - ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ②賞与引当金
  - ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

### (1) 墨田わんぱく保育拠点計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

### (2) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（⑩））

- ・タムスわんぱく保育園墨田
- ・タムス学童クラブ墨田
- ・タムスわんぱく子育てひろば

### (3) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（⑪））

- ・タムスわんぱく保育園墨田
- ・タムス学童クラブ墨田
- ・タムスわんぱく子育てひろば

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	552,161,959	0	20,536,605	531,625,354
合計	552,161,959	0	20,536,605	531,625,354

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物	531,625,354 円
計	531,625,354 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	74,648,000 円
計	74,648,000 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位： 円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	627,462,844	95,837,490	531,625,354
構築物	777,000	564,798	212,202
車両運搬具	154,000	131,165	22,835
器具及び備品	16,718,518	10,534,919	6,183,599
合計	645,112,362	107,068,372	538,043,990

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位： 円）

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	22,681,320	0	22,681,320
未収金	0	0	0
未収補助金	14,354,200	0	14,354,200
合計	37,035,520	0	37,035,520

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

（単位： 円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態

を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（軽費老人ホームタムスさくらの杜江戸川用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

## ① 有形固定資産（リース資産を除く）

- ・建物、構築物：定額法
- ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法

## ② 無形固定資産（リース資産を除く）

- ・定額法

## ③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

- ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

## ④ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

- ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

## 2. 採用する退職給付制度

該当なし

## 3. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

## (1) 軽費老人ホームタムスさくらの杜江戸川拠点区分計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## 4. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	82,243,850	0	2,336,171	79,907,679
合計	82,243,850	0	2,336,171	79,907,679

## 5. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 6. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円

## 7. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	106,189,606	26,281,927	79,907,679
合計	106,189,606	26,281,927	79,907,679

8. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位： 円)

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の当期末残高
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位： 円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

10. 重要な後発事象

該当なし

11. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

# 計算書類に対する注記（タムスわんぱく保育園木場用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

### (1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
  - ・建物、構築物：定額法
  - ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
  - ・定額法
- ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
- ④所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

### (2) 引当金の計上基準

- ①退職給付引当金
  - ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ②賞与引当金
  - ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

### (1) タムスわんぱく保育園木場拠点区分計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	289,805,142	0	11,159,263	278,645,879
合計	289,805,142	0	11,159,263	278,645,879

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物	278,645,879 円
計	278,645,879 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	38,295,000 円
計	38,295,000 円



8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。  
(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	323,114,307	44,468,428	278,645,879
構築物	3,508,450	2,760,350	748,100
車両運搬具	404,687	324,705	79,982
器具及び備品	11,358,942	8,965,342	2,393,600
合計	338,386,386	56,518,825	281,867,561

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。  
(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	5,942,030	0	5,942,030
未収補助金	6,236,000	0	6,236,000
合計	12,178,030	0	12,178,030

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。  
(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

# 計算書類に対する注記（タムスわんぱく保育園荒川用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

### (1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
  - ・建物、構築物：定額法
  - ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
  - ・定額法
- ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
- ④所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

### (2) 引当金の計上基準

- ①退職給付引当金
  - ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ②賞与引当金
  - ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

### (1) タムスわんぱく保育園荒川拠点区分計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
該当なし	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物	99,630,315 円
計	99,630,315 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	22,934,000 円
計	22,934,000 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	149,820,000	50,189,685	99,630,315
構築物	990,000	799,775	190,225
車両運搬具	154,000	138,827	15,173
器具及び備品	5,288,950	3,923,202	1,365,748
合計	156,252,950	55,051,489	101,201,461

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	2,354,830	0	2,354,830
未収補助金	522,900	0	522,900
合計	2,877,730	0	2,877,730

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（元麻布保育園用）

法人名：社会福祉法人 春和会

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
  - ・建物、構築物：定額法
  - ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
  - ・定額法
- ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
- ④所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

#### (2) 引当金の計上基準

- ①退職給付引当金
  - ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ②賞与引当金
  - ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

#### (1) 港区立元麻布保育園拠点区分計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
該当なし	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

### 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	1,532,259	0	1,532,259
未収補助金	1,088,000	0	1,088,000
合計	2,620,259	0	2,620,259

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態

を明らかにするために必要な事項

該当なし

# 計算書類に対する注記（特別養護老人ホーム タムスさくらの杜船橋区用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

### (1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
  - ・建物、構築物：定額法
  - ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
  - ・定額法
- ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
- ④所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

### (2) 引当金の計上基準

- ①退職給付引当金
  - ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ②賞与引当金
  - ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1) 特別養護老人ホームタムスさくらの杜船橋区分計算書類  
会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号4様式

- (2) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（⑩））
  - ・特別養護老人ホームタムスさくらの杜船橋
  - ・老人短期入所事業タムスさくらの杜船橋

- (3) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（⑪））
  - ・特別養護老人ホームタムスさくらの杜船橋
  - ・老人短期入所事業タムスさくらの杜船橋

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	1,323,699,076	0	50,967,279	1,272,731,797
合計	1,323,699,076	0	50,967,279	1,272,731,797

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物	1,272,731,797 円
計	1,272,731,797 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	955,344,000 円
計	955,344,000 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	1,450,768,479	178,036,682	1,272,731,797
構築物	66,150,421	22,875,325	43,275,096
車両運搬具	12,008,160	9,328,528	2,679,632
器具及び備品	51,549,817	34,884,552	16,665,265
合計	1,580,476,877	245,125,087	1,335,351,790

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	89,437,882	0	89,437,882
未収補助金	244,000	0	244,000
合計	89,681,882	0	89,681,882

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（特別養護老人ホーム タムスさくらの杜南葛西用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
  - ・建物、構築物：定額法
  - ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
  - ・定額法
- ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
- ④所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
  - ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている

## (2) 引当金の計上基準

- ①退職給付引当金
  - ・職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ②賞与引当金
  - ・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している

## 2. 重要な会計方針の変更

該当事項なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 特別養護老人ホームタムスさくらの杜南葛西拠点区分計算書類  
会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## (2) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（⑩））

- ・特別養護老人ホーム タムスさくらの杜南葛西従来型
- ・特別養護老人ホーム タムスさくらの杜南葛西ユニット型
- ・老人短期入所事業 タムスさくらの杜南葛西

## (3) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（⑪））

- ・特別養護老人ホーム タムスさくらの杜南葛西従来型
- ・特別養護老人ホーム タムスさくらの杜南葛西ユニット型
- ・老人短期入所事業 タムスさくらの杜南葛西

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	1,769,854,051	0	66,565,783	1,703,288,268
合計	1,769,854,051	0	66,565,783	1,703,288,268

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産



担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物（基本財産）	1,703,288,268 円
計	1,703,288,268 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	720,950,000 円
計	720,950,000 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	1,869,702,724	166,414,456	1,703,288,268
構築物	36,551,276	9,137,817	27,413,459
車輛運搬具	12,714,080	8,328,134	4,385,946
器具及び備品	53,966,581	33,625,826	20,340,755
合計	1,972,934,661	217,506,233	1,755,428,428

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	116,135,875		116,135,875
未収金	8,120,700	0	8,120,700
未収補助金	10,242,000	0	10,242,000
合計	134,498,575	0	134,498,575

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし			
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態

を明らかにするために必要な事項

該当なし

## 計算書類に対する注記（特別養護老人ホーム タムスさくらの杜一之江用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）
  - ・建物、構築物：定額法
  - ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ②無形固定資産（リース資産を除く）
  - ・定額法

## (2) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ・賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。

## 2. 重要な会計方針の変更

該当事項なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 特別養護老人ホームタムスさくらの杜一之江拠点区分計算書類  
会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## (2) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（⑩））

- ・特別養護老人ホームタムスさくらの杜一之江従来型
- ・特別養護老人ホームタムスさくらの杜一之江ユニット型
- ・老人短期入所事業タムスさくらの杜一之江

## (3) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（⑪））

- ・特別養護老人ホームタムスさくらの杜一之江従来型
- ・特別養護老人ホームタムスさくらの杜一之江ユニット型
- ・老人短期入所事業タムスさくらの杜一之江

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	0	2,211,645,321	59,652,789	2,151,992,532
合計	0	2,211,645,321	59,652,789	2,151,992,532

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当事項なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物	2,151,992,532 円
計	2,151,992,532 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

長期設備資金借入金	1,230,000,000 円
計	1,230,000,000 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位： 円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	2,211,645,321	59,652,789	2,151,992,532
構築物	112,789,836	8,459,237	104,330,599
車両運搬具	12,512,840	3,917,140	8,595,700
器具及び備品	120,830,504	30,401,393	90,429,111
合計	2,457,778,501	102,430,559	2,355,347,942

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位： 円)

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	116,461,054	0	116,461,054
未収金	4,670,236	0	4,670,236
未収補助金	142,526,000	0	142,526,000
合計	263,657,290	0	263,657,290

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位： 円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当事項なし			
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当事項なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態

を明らかにするために必要な事項

該当事項なし

# 計算書類に対する注記（タムスわんぱく保育園一之江用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

### (1) 固定資産の減価償却の方法

#### ①有形固定資産（リース資産を除く）

- ・建物、構築物：定額法
- ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ・無形固定資産：定額法

#### ②無形固定資産（リース資産を除く）

- ・定額法

### (2) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。
- ・賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。

## 2. 重要な会計方針の変更

該当事項なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

### (1) タムスわんぱく保育園一之江拠点区分計算書類

会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	0	262,601,686	9,427,989	253,173,697
合計	0	262,601,686	9,427,989	253,173,697

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当事項なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本財産）	262,601,686	9,427,989	253,173,697
構築物	13,415,957	1,341,595	12,074,362
車両運搬具	8,845,120	2,877,400	5,967,720
器具及び備品	6,622,789	1,954,135	4,668,654
合計	291,485,552	15,601,119	275,884,433

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	5,896,600	0	5,896,600
未収補助金	794,950	0	794,950
合計	6,691,550	0	6,691,550

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当事項なし			
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当事項なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当事項なし

## 計算書類に対する注記（（仮）特別養護老人ホームタムスさくらの杜江東用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

## ①有形固定資産（リース資産を除く）

- ・建物、構築物：定額法
- ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ・無形固定資産：定額法

## ②無形固定資産（リース資産を除く）

- ・定額法

## (2) 引当金の計上基準

・退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。

・賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。

## 2. 重要な会計方針の変更

該当事項なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1)（仮）特別養護老人ホームタムスさくらの杜江東拠点区分計算書類  
会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
該当なし	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当事項なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建設仮勘定	1,538,212,500	0	1,538,212,500
合計	1,538,212,500	0	1,538,212,500

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収補助金	735,634,400	0	735,634,400
合計	735,634,400	0	735,634,400

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当事項なし			
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当事項なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当事項なし

## 計算書類に対する注記（（仮）特別養護老人ホームタムスさくらの杜小日向用）

法人名：社会福祉法人 春和会

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

## ①有形固定資産（リース資産を除く）

- ・建物、構築物：定額法
- ・建物、構築物以外の有形固定資産：定率法
- ・無形固定資産：定額法

## ②無形固定資産（リース資産を除く）

- ・定額法

## (2) 引当金の計上基準

・退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当期末における法人の退職金規程に基づく期末自己都合要支給額を計上している。

・賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。

## 2. 重要な会計方針の変更

該当事項なし

## 3. 採用する退職給付制度

当法人では、法人の退職金規程に基づく退職金制度を採用している。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1)（仮）特別養護老人ホームタムスさくらの杜小日向拠点区分計算書類  
会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
該当なし	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当事項なし

## 7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

該当なし	0 円
計	0 円



8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
該当なし		0	0
合計	0	0	0

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収補助金	71,895,987	0	71,895,987
合計	71,895,987	0	71,895,987

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当事項なし			
合計	0	0	0

11. 重要な後発事象

該当事項なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当事項なし